

第 29 号

発行：平成 27 年 4 月

松浦武四郎記念館友の会

会員数：137 名(平成 27 年 3 月末現在)

(家族会員=12 名、個人会員=125 名)

松浦武四郎記念館友の会



友の会だより

友の会事務局：松阪市小野江町 383

松浦武四郎記念館内

連絡先：電話 0598-56-6847

Fax 0598-56-7328

発行責任者：飯田 秀

新年度の挨拶

会長 飯田 秀



新年度を迎えて、一言ご挨拶を申し上げます。

「松浦武四郎記念館友の会」設立後、早や8年目を迎える事ができましたのも会員皆様のご支援があればこそと感謝する次第です。

会員の皆さんには、友の会活動及び「武四郎まつり」にご理解とご協力を賜り、ありがとうございます御座いました。昨年は会員の年代も高齢の方が多く、20 歳代の女性が入会されたり、エゾヤマ桜が12本全てに花が付きその内2本が満開、県下で初めてとなる武四郎翁の歌碑が武四郎記念館敷地内に建立出来た事、又、松阪偉人顕彰団体協議会の射和「昔を語る会」との交流会の開催、旧松阪市内の小学校への「武四郎紙芝居」出前講座など納得ができる一年でした。

松浦武四郎記念館の開館 20 周年記念式典が盛大に開催され、武四郎まつりも第 20 回と云う節目に友の会会長である私が実行委員長と云う大役を仰せつかり、実行委員会中心に取り組み歴史に残る「武四郎まつり」に努めることが出来ました。

今年度は、松阪偉人顕彰団体協議会が主催で、松阪の偉人を 10 名程選び、生涯展を松阪市文化財センターに於いて、学校が夏休みになる時期(8 月中旬の 5 日間)に展示をして多くの市民に松阪の偉人を学んで貰おうと実行委員会を立ち上げて進めております。詳細が決まり次第チラシなどで呼びかけをさせていただきます。

『気軽に楽しく』をキーワードに友の会活動を進めるために、会員一人ひとりの絆を更に強めて会員が楽しめる活動を遂行するために、有言実行に務めていきたいと思っております。

活動拠点の松浦武四郎記念館が在る小野江町は自然豊かな歴史あるまちであり、「おのえ住民協議会」が取組もうとしている地域計画の策定にも友の会として協力をしていきたいと思っております。

それには、会員皆様のご支援ご協力が必要でありますので、宜しくお願い致します。

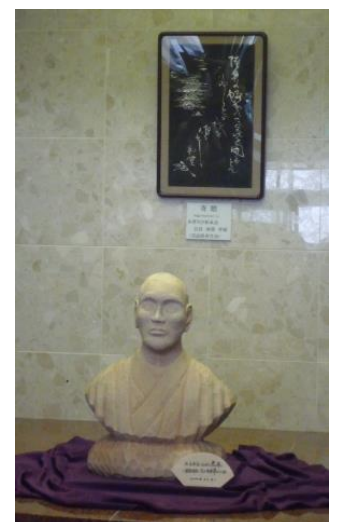
「武四郎まつり」が賑やかに開催されました！！

平成 27 年 2 月 22 日(日)に恒例の武四郎まつりが開催され、天候も危ぶまれる中、松阪市内外から約 3,500 名の方が来られました。

今年は第 20 回という節目のときで、田村憲久衆議院議員(前厚生労働大臣)、鈴木英敬三重県知事など多くの来賓を迎え、三雲町のまつりから、松阪市のまつり、三重県のまつりへと広がりがある催しとなりました。

まつりの目玉の一つであるアイヌ古式舞踏は北海道白糠町の白糠アイヌ文化保存会の方々による踊りが披露されました。

又、「光れ街道夢おこしの会」(前川幸敏代表)が北海道白老町の民芸品



贈呈された胸像

販売会社社長である山田裕治さんに制作依頼し出来上がった『武四郎の胸像』の贈呈式が行われ、記念館の正面に飾られました。

武四郎は生涯に多くの和歌を詠みましたが、蝦夷地調査に対する使命感を詠んだ詩を、「小野江コミュニティセンター詩吟の会」(濱田洋子会長)が明瞭な声で吟じました。

友の会としては、音威子府村の名産販売コーナー、アイヌ文化体験コーナー、記念館入口で友の会活動のパネル展示、記念館内で書籍の販売、誕生地での案内・説明、真覚寺では由緒説明など会員の協力により行いました。

お手伝いいただいた方に厚く御礼申し上げます。



記念館入口で書籍の販売



アイヌ文化体験コーナー



活動のパネル展示(記念館入口)



記念撮影のお手伝い(誕生地前)



賑やかな旧参宮街道(誕生地前)



伊勢太神楽保存会竹上社中による獅子舞(真覚寺前広場)

「第20回武四郎まつり」に関して

節目となる第20回と云うことで、情報発信の拡大を図る為「のぼり旗」を早くから、三雲管内の伊勢街道や松阪駅・中川駅周辺と各公民館などに設置し、ポスターについても設置場所の工夫をしてより多くの方々にお越し下さることに努力したこともあり、当日は天候が悪い中3,500名の方々が2月22日(日)「第20回武四郎まつり」にお越し下さいました。

式典には、今回始めて鈴木三重県知事に出席いただいたほか、田村衆議院議員には東京から駆けつけて貰い、ご祝辞を頂き武四郎まつりに華を添えて貰った事は実行委員長として感謝する次第です。

恒例のアイヌ古式舞踊については「白糠アイヌ文化保存会」の方々12名が来られましたが、実は、武四郎が蝦夷地を6度探査しておりますが、最後の探査時に白糠町へ3回立ち寄っていることから、偶然にも節目の20回に白糠の方々に来ていただけたことは記念すべきものと思います。

20回目となった武四郎まつりを通じて、武四郎翁を顕彰する為にこのまつりに間に合わせようと、昨年県下で初めて武四郎の歌碑を建立しましたが、松浦武四郎記念館内の掛軸にしか無い武四郎が書いた和歌であり、まつり前に奈良の「かぎろひの会」会長さんが、その掛軸に書かれた武四郎自筆の和歌を拓本にし、額縁に入れて届けて頂き、まつり当日は館内正面に飾って多くの方々に見て頂きました。

その詩を地元の詩吟サークルの方々に披露していただきましたが、会場の皆さんも真剣に耳を傾けておられ武四郎翁を顕彰できたことに感謝する次第です。

そして、実行委員の中に大阪の国立民俗学博物館に詳しい方が居られ、所蔵物を直接お借りして館内に初めて展示することができ、入館された方も熱心に見学する光景が目にとまりました。

今回初めてのスタンプラリーによって、伊勢街道も賑わい武四郎誕生地や武四郎が幼少時代よく遊んだ真覚寺広場での「獅子の寄せ舞い」や誕生地前のお食事処にも多くの方々来られ、今までにない賑わいにスタッフ・実行委員会の方々・関係者の方に深く感謝しております。

今回は第20回目の節目と云うことで次年度になります。実行委員会として記念誌を発行する計画です。

第20回武四郎まつり実行委員会

友の会主催の武四郎講座実施

昨年は坂田墨珠堂 代表取締役の坂田雅之先生に、「屏風の基本」「修復の意義」「どんな修理をしているのか」「今後の方向」などのお話をいただきました。

今年は第2回目として、2月8日に坂田墨珠堂 主任技師 佐味義之氏に蝦夷屏風の修復に関連して～屏風の構造・修理・旧形態の保存について～ 実物模型を手にしてお話をいただきました。

屏風が表側と裏側が巧みに折り返すことができる構造になっていること、又、和紙が世界遺産に登録されたことを見直されていますが、何故、和紙が凄いのかなど、私たちも手に触って感じることができ、大変良い機会でした。



講義される佐味先生

松阪偉人顕彰団体協議会よりのお知らせ

1、総会：4月19日(日)13：30～

松阪市産業振興センター2階で開催されます。

記念講演：テーマ「郷土の偉人の生き方に学ぶ」

講師 松阪市立第一小学校 松本吉弘校長

2、松阪市制10周年記念事業の一環として「松阪の偉人たち」の展示を開催します。

期間：8月7日(金)～12日(水)・・・ただし、10日は休館日

開催場所：松阪市文化財センター ギャラリー室

※友の会としては、武四郎の生涯の功績と共に、友の会活動の内容を展示します。

【記念館よりのお知らせ】

☆武四郎講座のご案内 ※下記は予定ですので、変更になる場合があります

5月10日(日) 10:00～ テーマ：記念館のこれからを考える

講師：宇野 文男先生(現松浦武四郎記念館運営審議会顧問、元福井大学教授)

当日は、講座終了後に友の会の総会を開催します。

6月14日(日)10時～ テーマ：武四郎の家族 講師：山本 命学芸員

7月12日(日)10時～ テーマ：武四郎の若気の至り 講師：山本 命学芸員

☆企画展示のご案内

◆テーマ：武四郎の晩年 4月14日(火)～6月7日(日)まで

松浦武四郎は晩年に、大台ヶ原の登山や一畳敷の書斎を作るなど、精力的に活動しました。

老いてなお衰えることの無かった武四郎の姿を、多彩な展示資料から紹介します。

◆テーマ：武四郎と和歌 6月9日(火)～8月2日(日)まで

松浦武四郎はその生涯で多くの和歌も詠みました。武四郎が詠んだ和歌に関する資料を展示し、歌人としても活躍した武四郎の姿を紹介します。

◆テーマ：武四郎とアイヌ民族 8月4日(火)～9月27日(日)まで

松浦武四郎は幕末に6度にわたって蝦夷地の調査を行いました。調査を通じて出会ったアイヌ民族との交流の様子を、調査記録や地図などから紹介します。

【友の会よりのお知らせ】

年会費の納入についてのお願い

新年度が始まりました。平成27年度の年会費(個人会員500円、家族会員1000円)を、役員又は記念館事務局へ納入して頂くようお願いいたします。

友の会入会のお誘い(武四郎を知りたい方へ入会をお勧めします。)

友の会は「松浦武四郎」について講座、バスによる研修旅行、啓発展示、「友の会誌」での情報発信等を行っています。入会金は不要で、年会費は個人会員500円、家族会員1000円です。詳細は、役員又は記念館事務局へ問い合わせをお願いいたします。

総会の予定

5月10日(日)の講座の後(11時頃)から平成27年度総会を開催します。

多くの方のご出席をお願い致します。